

様式第2-3号(第8条関係)

埼玉県民間事業者CO2排出削減設備導入補助金 事業計画書 <記入例>
(スマート省エネ技術導入事業)

1 事業実施者

民間事業者	事業者	団体名	株式会社〇〇〇			赤字部分を入力してください。 様式第1号交付申請書と一致していること。
		代表者名	代表取締役 〇〇 〇〇			
	主たる事務所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇市△△×丁目×番×号				
	産業分類上大分類	〇〇業				
	資本金・常時使用する従業員数	〇〇 万円		〇〇〇 人		
みなし大企業の 該当要件	ア 発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上を同一の大企業(中小企業者以外をいう。)が所有していることの有無					有
	イ 発行済株式の総数又は出資金額の3分の2以上を大企業が所有していることの有無					無
	ウ 大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総					無
実施場所	事業所名称	〇〇工業			要件への該当の有無を選択 誤りがあると虚偽申請となり、補助金の返還要件に該 当しますので申請前に十分御確認ください。	大企業に の有無
	事業所所在地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市△△×丁目×番×号				
国補助金等 への申請有無 (予定含む)	有	(国補助金等への申請有の場合)	〇〇事業			有
連絡先	所属名	〇〇部〇〇課〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	職名	〇〇〇課長		FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	氏名	〇〇〇 〇〇〇		E-mail	〇〇〇@〇〇〇	
	連絡先住所 (郵送先)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市△△×丁目×番×号				

リース事業者(※導入設備をリースで調達する場合のみ記載してください。)

リース 事業者	事業者	団体名	株式会社 ■■■■			
		代表者名	代表取締役 ■■■ ■■■			
	主たる事務所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市 △△ ×-×				
連絡先	所属名	〇〇部〇〇課〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	職名	〇〇〇課長		FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	氏名	〇〇〇 〇〇〇		E-mail	〇〇〇@〇〇〇	
	連絡先住所 (郵送先)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市△△ ×-×				

2 事業所の直近3か年度の原油換算エネルギー使用量・CO2排出量

事業所で使用した全てのエネルギー(電気、ガス、重油、灯油等)を原油換算・CO2換算した結果を記載してください。

直近3か年度	令和〇〇年度 (3か年度前)	令和〇〇年度 (2か年度前)	令和〇〇年度 (1か年度前)	平均
原油換算エネルギー 使用量(kL)	1,500	1,500	1,500	1,500
CO2排出量(t-CO2)	3,000	3,000	3,000	3,000

※原油換算は、別添、簡易版「エネルギー使用量・CO2排出換算シート」を使用して算出してください。

3 事業内容

導入設備	EMS		
事業概要	(スマート省エネ技術の導入による削減対策の概要) (例) ・EMSの導入により設備の稼働状況が見える化し、生産設備やコンプレッサ等の無駄な稼働を改善することによりCO2排出量を削減する。 ・EMSを導入し、事業所の空調を自動制御化することにより、CO2排出量を削減する。		
	年間CO2排出削減予測量	8.4 t-CO2/年	

4 サポート事業者の利用(サポート事業者を利用する場合のみ記入)

サポート事業者	事業者	団体名	〇〇株式会社		
		代表者名	代表取締役社長 〇〇 〇〇		
	主たる事務所の所在地	埼玉県〇〇市△△×丁目××番××号			
	業種/主な業務内容	その他の専門サービス業	主な業務内容	エネルギーマネジメント業務	
連絡先	所属名	〇〇部〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
	職名	〇〇課長		FAX	△△△-△△△-△△△△
	氏名	〇〇 〇〇		E-mail	〇〇〇@△△△.××.〇〇
	連絡先住所 (郵送先)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇市△△×丁目××番××号			

5 事業費内訳

(単位 円)

区分	機器費			工事費	サポート費	合計
	単価	数量	計			
補助対象経費	EMS	1,500,000	1	1,500,000	300,000	1,800,000
	計測機器	500,000	1	500,000	500,000	1,000,000
	サポート費			0	500,000	500,000
				0		0
	「事業費内訳」の記載に当たっては、事業内容、図面、見積書と整合がとれていること。 補助対象内外の主な導入設備の概略仕様、数量の詳細を添付してください。					
						0
						0
						0
計			2,000,000	800,000	500,000	3,300,000
補助対象外経費	既存設備撤去費					0
	既存設備移設費					0
	既存設備にかかる処分費					0
	諸経費(共通仮設費、一般管理費等)					0
	その他					0
計			0	0	0	0
小計	見積書の合計額(税抜額)と一致すること。					3,300,000
消費税及び地方消費税額						330,000
総事業費	見積書の合計額(税込額)と一致すること。					3,630,000

30万円未満は補助事業対象外

(注)補助対象経費は導入設備ごとに記載すること。上記に記載しきれない場合は、別途内訳書を添付すること。

6 補助金申請予定額

(単位 円)

(1) 補助上限額

上限額	A
10,000,000	

(2) 補助対象経費の1/3以内
(補助対象経費)

3,300,000	×	補助率 1/3	=	算出結果 1,100,000	B
-----------	---	------------	---	-------------------	---

※1万円未満切り捨て

(3) 補助金申請予定額

A及びBのうち、いずれか低い額(※1万円未満切り捨て)

補助申請予定額
1,100,000

7 費用対効果

年間CO2排出削減予測量		8.4 t-CO2
本補助事業により導入するEMSの計測・制御点数		31 点
補助申請予定額		1,100,000 円
補助対象経費のうちサポート費を除いた額		2,800,000 円
費用対効果1	1t-CO2削減予測量当たりの補助対象経費(サポート費を除く)	333,333 円/t-CO2
費用対効果2	本補助事業により導入するEMSの計測・制御点1点当たりの補助対象経費(サポート費を除く)	90,323 円/点

※ 費用対効果1及び2は、小数点以下切り捨て。

8 年間CO2排出削減予測量

(1) 電気設備

No.	EMSによる計測・制御対象設備の名称	設備台数 (台)	設備1台当たりの定格 消費電力	負荷率 (一律 0.3)	一日当 り稼働時 間(h/日)	年間稼働 日数(日)		排出係数	年間CO2排出量 (t-CO2)	EMS計測/計測・ 制御の別	想定削減 率(%)	年間CO2排出 削減予測量 (t-CO2)
		①	②		③	④		⑤	⑥=①×②×0.3× ③×④×⑤		⑦	⑧=⑥×⑦
1	コンプレッサ	3	30 kW	0.3	8	300		0.495 <small>t-CO2/千kWh</small>	32.076	計測	2	0.64
2	チラー	2	20 kW	0.3	8	300		0.495 <small>t-CO2/千kWh</small>	14.256	計測	2	0.29
3	空調(冷房)	10	20 kW	0.3	12	330		0.495 <small>t-CO2/千kWh</small>	117.612	計測・制御	3	3.53
4	空調(冷房)	10	15 kW	0.3	12	330		0.495 <small>t-CO2/千kWh</small>	88.209	計測・制御	3	2.65
5												
6												
7												
8												
9												
10												
合 計												7.1

(2) 燃料設備

No.	EMSによる計測・制御対象設備の名称	燃料等の種類	設備台数 (台)	設備1台当たりの定格 燃料消費量	負荷率 (一律 0.3)	一日当 り稼働時 間(h/日)	年間稼働 日数(日)	単位当たり発熱量	排出係数	年間CO2排出量 (t-CO2)	EMS計測/計測・ 制御の別	想定削減 率(%)	年間CO2排出 削減予測量 (t-CO2)
			①	②		③	④	⑤	⑥	⑦=①×②×0.3×③× ④×⑤×⑥×44/12		⑧	⑨=⑦×⑧
1	ボイラ	都市ガス(13A:45MJ)	2	20 Nm3/h	0.3	8	300	45 GJ/千Nm3	0.0136 <small>t-C/GJ</small>	64.63	計測	2	1.29
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
合 計												1.3	

(備考)対象設備が10台を超える場合、及び、上記表による算定が困難な場合は、別紙(任意様式)により算定し、下記(3)に記入してください。

(3) その他任意様式による算定(任意様式による算定資料を添付してください)

年間CO2排出削減予測量(t-CO2)	0.0
---------------------	-----

年間CO2排出削減予測量 (1)~(3)合計 (小数点以下四捨五入)	8.4 t-CO2
---------------------------------------	--------------

9 導入するシステム・設備

(1)システム・設備の名称、機器構成、仕様

主装置(名称・型番) ABCD-123 入出力装置 コントロールユニット 空調・照明制御盤 端末収納盤 : : 計測器 CT5A/50A/100A/250A/400A/600A ○○○○ ○○○○○○○○ : :
--

(2)システム・設備の制御機能

制御機能の有無	有
(制御の内容と運用改善効果を具体的に記載する) (制御機能の説明) ○. 照明省エネ制御 タイムスケジュール及び人感センサにより照明機器の点灯時間を最小化する。対象設備:照明機器 ○. 外気取入れ量制御 室内CO2濃度によって冷暖房負荷となる外気取入れ量を制御し熱源エネルギーを削減する。対象設備:空調器、換気ファン ○. 空調設定値緩和制御 室内外環境条件と省エネ目標値との相対により、空調温度設定値を緩和してエネルギー使用量を削減する。対象設備:空調器 ○. 熱源機運転台数制御 空調負荷熱量により熱源機の必要台数を演算し運転台数を制御し熱源エネルギーを削減する。対象設備:冷温水ヒートポンプチラー ○. 空調スケジュールと最適起動停止制御 空調機を就業時間に合わせて自動運転させるとともに最適起動停止制御と起動時外気ダンパー制御で省エネを図る。対象設備:空調機 ○. 間欠運転制御 空調機や換気ファンに対して周期的に停止時間(緩和時間)を設け節電運転を図る。対象設備:空調機、換気ファン	

10 計測・制御対象一覧

EMSでの計測又は制御を予定する箇所を記載してください。なお、既存の計測器等のデータを本事業で導入するEMSに取り込む場合は、既存計測器等についても記載してください。

No.	対象設備	設置場所	計測項目	計測機器種別	計測器型式	計測 点数	EMS 制御 点数	補助対 象設備	補助対象の 計測・制御 点数
						①	②		③=①+②
1	コンプレッサNo.1	工場棟1F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
2	コンプレッサNo.2	工場棟2F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
3	コンプレッサNo.3	工場棟3F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
4	チラー	機械室	電力	電力量計	ABC12-345	2	0	○	2
5	空調	工場棟	電力	電力量計	ABC12-345	10	10	○	20
6	冷水	工場	温度	温度センサ	GHxxx-xxx	5	0	○	5
7	ボイラ	機械室	燃料使用量	流量計	BFxxx-xxx	1	0	○	1
8	コンプレッサNo.5	工場棟3F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0		0
9	チラーNo.3	機械室	電力	電力量計	ABC12-345	1	0		0
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									

※ 記入欄が不足する場合には、同様の様式により追加記載すること。

11 システム概要図

システムの構成図を記載

12 予定している導入設備に関する資産登録

補助対象事業の実施により取得する設備に関し、申請者において資産管理することとしています。導入を予定している設備の資産登録内容について記入してください。

(1) 資産登録の予定時期

令和 年 月 に資産登録する予定です。

(2) 予定される資産状況

	資産の分類※	資産名	耐用年数
1	機械及び装置	エネルギーマネジメントシステム	10 年
2			年
3			年
4			年
5			年

※ 資産の分類は、次の中から選択してください。

(1) 建物附属設備、(2) 構築物、(3) 器具及び備品、(4) 機械及び装置、(5) その他

まだ受診していない場合、予定機関に○を付してください。

13 省エネルギー診断の受診

(1) これから受診する場合

省エネ診断 申込予定 機関	<input checked="" type="radio"/>	埼玉県
		一般財団法人省エネルギーセンター

※ いずれかに○をつけること。

受診済の場合、受診機関に○を付してください。

(2) 過去に受診済の場合

※ 交付申請前過去3か年度以内の受診済の場合、診断結果報告書を添付してください

省エネ診断 実施機関	<input checked="" type="radio"/>	埼玉県
		一般財団法人省エネルギーセンター

※ いずれかに○をつけること。

受診年月日	令和 <input type="text" value="〇〇"/> 年 <input type="text" value="〇〇"/> 月 <input type="text" value="〇〇"/> 日
-------	--

診断結果報告 書受理日	令和 <input type="text" value="〇〇"/> 年 <input type="text" value="〇〇"/> 月 <input type="text" value="〇〇"/> 日
----------------	--

簡易版「エネルギー使用量・CO2排出量換算シート」(添付不要)

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素排出量		
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥×44/12			
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO ₂		
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258		0.0187	t-C/GJ	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ	
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ	
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ	
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ	
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ	
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ	
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ	
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ	
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t		0.0161	t-C/GJ
		石油系炭化水素ガス		千Nm ³	44.9		GJ/千Nm ³		0.0142	t-C/GJ
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t		0.0135	t-C/GJ
		その他可燃性天然ガス		千Nm ³	43.5		GJ/千Nm ³		0.0139	t-C/GJ
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t		0.0245	t-C/GJ
		一般炭		t	25.7		GJ/t		0.0247	t-C/GJ
		無煙炭		t	26.9		GJ/t		0.0255	t-C/GJ
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ	
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ	
	コークス炉ガス		千Nm ³	21.1	GJ/千Nm ³			0.0110	t-C/GJ	
高炉ガス		千Nm ³	3.41	GJ/千Nm ³		0.0263	t-C/GJ			
転炉ガス		千Nm ³	8.41	GJ/千Nm ³		0.0384	t-C/GJ			
その他燃料	都市ガス ^(※)	13A:45MJ/m ³	千Nm ³	45	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
		13A:43.12MJ/m ³	千Nm ³	43.12	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
		13A:46.04MJ/m ³	千Nm ³	46.04	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
		12A:41.86MJ/m ³	千Nm ³	41.86	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
		6A:29.30MJ/m ³	千Nm ³	29.3	GJ/千Nm ³		0.0136	t-C/GJ		
小計										
熱			①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×⑥	
	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258		0.060	t-CO ₂ /GJ	
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO ₂ /GJ	
小計										
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258		0.495	t-CO ₂ /FkWh	
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.495	t-CO ₂ /FkWh	
	その他の買電		千kWh	9.76	GJ/千kWh			0.495	t-CO ₂ /FkWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh					-0.495	t-CO ₂ /FkWh	
	小計									
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ							
	自ら生成した電力の供給		千kWh							
	小計									
コージェネレーションシステムの利用										
合計					0.0258					